



名称	木造男神像
よみがな	もくぞうだんしんぞう
指定	市指定
種別	有形文化財
種類	彫刻
所在地	沼田町
所有者	二位神社
員数	1 軀
指定年月日	令和元（2019）年9月18日
構造形式	木造
法量	像高 86.0 cm
時代	平安時代
公開状況	非公開

【解説】

平安時代（11～12世紀）頃のものと考えられます。冠をかぶり上着をまとう点では平安時代の男神像によくある姿といえます。平安時代の男神像は坐像が圧倒的に多いのに対し、本像は現状では腰部以下が切断され、元々は立像だった可能性があります。また表情は眉を吊り上げ、眉根を寄せて目を怒らせ、口を「へ」の字状に閉じる威圧感のある表情をしています。

立像であった可能性、それに特徴ある表情から考えれば、元々は隨身像（神社の門や本殿内の左右に安置される守護神像）に類するものであった可能性が考えられます。

両肩から先は、後の時代に新たな木材を使い補修されたものです。